

47. 地域住民の居場所「交流サロン」の内容の充実

グループ名 オアシスいつせサポーター倶楽部
代表者 北村久美子

① 活動の目的

兵庫県の中山間地域、少子高齢化の波はずっと前から押し寄せています。お一人暮らしの高齢者も増えてきています。市や社協は、要支援者を地域でケアする仕組みを整備しようと進めています。その方向に沿って、地域で元気に歳を重ねるための居場所作りをしています。最後まで自分らしくあるための共助が目的です。

② 活動概要

小学校区の地域づくり拠点で毎週2回の交流サロンの運営、週1回の健康体操のサポート、をしています。また、要請があれば地域内の単位自治会の高齢者福祉事業のお手伝いもしています。

③ 決算報告書

収入	大同生命厚生事業団助成金	100,000円
	自主財源（会計より）	290円
支出	材料費 コーヒー豆・紅茶葉・水など	33,490円
	コーヒー豆 17,440円	
	紅茶葉 3,900円	
	水（クリクラ） 12,150円	
	ボランティア謝金補助（会から800円支給） 300円×146回分	43,800円
	リーダー活動謝金 ボラ統括（高見裕子） 会計（大塚祐子）	23,000円
	合計	100,290円

